

令和5年4月11日

# 西中学校通信

第1号

自主的に考え、正しく行動できる生徒

<自立と自律>

## 入学・進級おめでとうございます

生徒の皆さん、入学・進級おめでとうございます。

新しい学校、新しい学年、新しいクラス、そして、新しい人との出会い、期待が大きい分、不安も大きいことと思います。これからの学校生活は、自分が期待する通りの良いことばかりがあるわけではなく、苦しいことや辛いこともあります。それは、中学校生活だけではなく、これまでもそうであったことと思いますし、中学校を卒業してからも、そうであるはずです。

何年か先に、皆さんは社会に出ていきます。社会に出るということは、精神的にも経済的にも「自立」することが求められます。

中学校までの義務教育では、皆さんが、将来的に「自立」するために「自律」できるようになることが大切です。「自律」とは、自分で自分をしっかりとコントロールすることであり、自分自身を自分で良い方向に進めていこうという力のことです。

自分の思い通りにならなくとも、期待に反した苦しいことや辛いことがあっても、一時的な自分の感情に流されず、自分にとって将来的に必要な力をつけるために、今、何をすべきかを考えられるようになってほしいと願っています。

中学校では、取り組むことの量が多くなり、質が高くなります。学年が上がるごとに、求められる努力の量も質も上がります。しかし、努力も苦勞もせずに、何でもできてしまう人はいません。

だからこそ、中学校生活では、「努力の足跡」「挑戦の足跡」を多く残してほしいと願っています。

自分の残した足跡をたどりながら、次は何が必要なのかと考えることが、自分を伸ばしていくために大切なことです。

結果がでなければ、心は傷つきます。しかし、そこでやめてしまえば、自分の成長はそこで止まります。

傷ついても、次の一步を踏み出す勇氣をもってください。

うまくいなくても、「努力の足跡」「挑戦の足跡」をつけることをやめないでください。

それが、自分が自分に期待する姿に近づく道であると思っています。